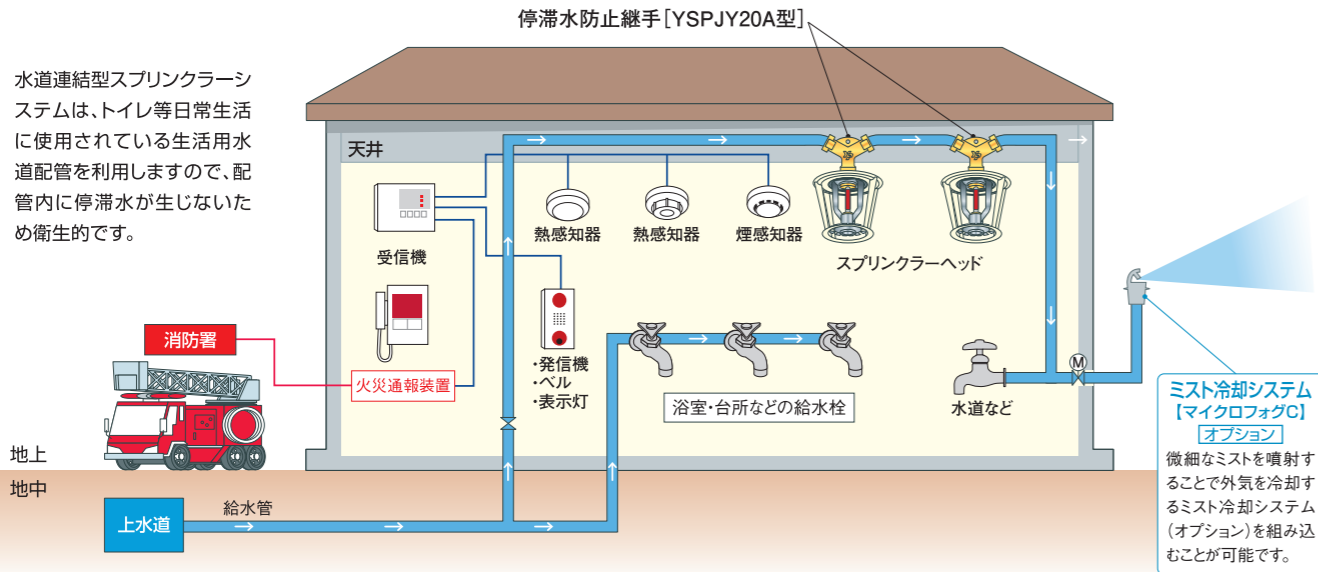
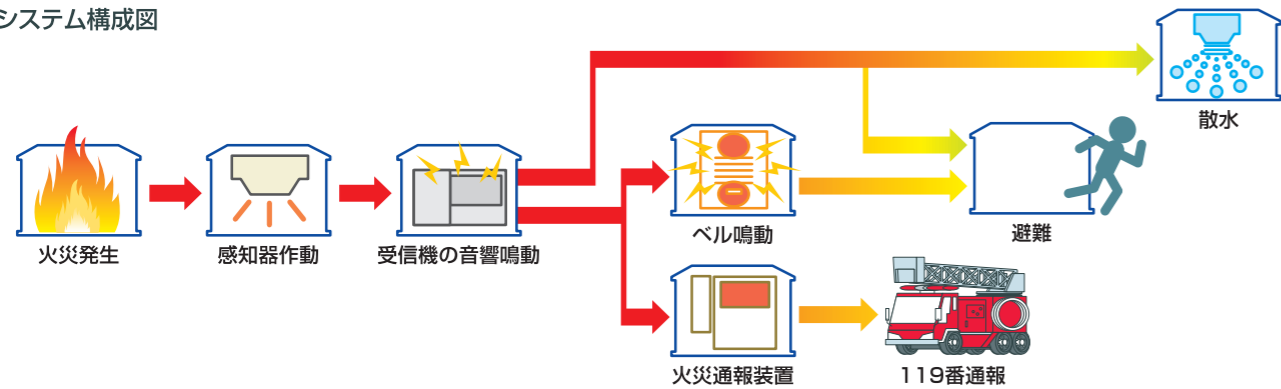


水道連結型スプリンクラーシステムは、トイレ等日常生活に使用されている生活用水道配管を利用しますので、配管内に停滞水が生じないため衛生的です。



システム構成図



自動火災報知設備
P型2級受信機
【火災受信盤】



粉末(ABC)消火器
YA-10NX
10型(蓄圧式)
国家検定合格品
グリーン購入法適合品

玄関やリビングなどに



ハイパフォーマンス
強化液(中性)消火器
YNX-2.5
(蓄圧式)
国家検定合格品
NON-PFOS

オールマイティな
消火能力



■停滞水防止継手



日本水道協会認証品
認証登録番号:G-752

■スプリンクラーヘッド



日本水道協会認証品
認証登録番号:Z-363

■樹脂管



■継手



特定施設水道連結型スプリンクラー設備のご採用にあたり

- ◎ご採用にあたっては、所轄の水道局・消防署へのご相談とその指導に従ってください。
- ◎断水時にはスプリンクラーからの散水は行われません。
- ◎スプリンクラーヘッドが設置されていない場所での出火には対応できません。
- ◎多量の可燃物や危険物により引き起こされる火勢には、十分な火災抑制効果が得られない場合があります。
- ◎火災時には、まず安全な場所に避難してください。
- ◎消防隊が駆けつけた場合には、必ず消防隊の指示に従って行動してください。

▶消火器は目立つところに設置してください。

■消防法第17条の3の3に基づき6か月に1回以上の点検を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行うようにしてください。
※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <https://www.yamatoprotec.co.jp>

※このカタログは、再生紙を使用しています。



お問い合わせは
こちら

HOME SPRINKLER SYSTEM

特定施設水道連結型スプリンクラーシステム

初期の火災にすばやく作動、散水して、
住んでいる人が安全な場所に逃げるように、
そして火災による財産の損失を最小限に抑えるための設備です。

大切な命を守るためにも、
充実した防災設備を備えてください。



グループホーム等に関する政省令が改正されました

消防法施行令改正(平成25年政令第368号)が平成27年4月1日より施行されています。(平成25年12月27日に公布)
この改正により、延面積275㎡未満の施設への防火安全対策が強化されました。また、消防法施行令別表第一(6)項の一部が見直されました。

- 【消火器】
すべての施設に設置
- 【自動火災報知設備】
すべての施設に設置
- 【火災通報装置】
すべての施設に設置
- 【消防検査】
すべての施設で実施
- 【スプリンクラー設備】
延面積275㎡未満の施設にも設置を義務付け
(延面積0~1,000㎡までは水道連結型でも可)
- 【防火管理者の選任】
収容人員10人以上
(甲種防火管理者が必要)

消防法施行令別表第一(6)項 改正の概要

- 老人デイサービスセンターのうち
避難が困難な要介護者を宿泊させ、入浴、排泄等の介護を行う施設 → H27.4.1 施行
- 軽費老人ホームのうち
避難が困難な要介護者を主として入居させている施設 → (6)項のロ
- 小規模多機能型居宅介護を行う施設のうち
避難が困難な要介護者を主として入居させている施設 → (6)項のロ
- 「その他これらに類する」施設として
 - ①避難が困難な要介護者を主として入居又は宿泊させ、入浴、排泄等の介護を行う施設 → (6)項のロ
 - ②老人に対し、入浴、排泄等の介護を行う施設 → (6)項のハ

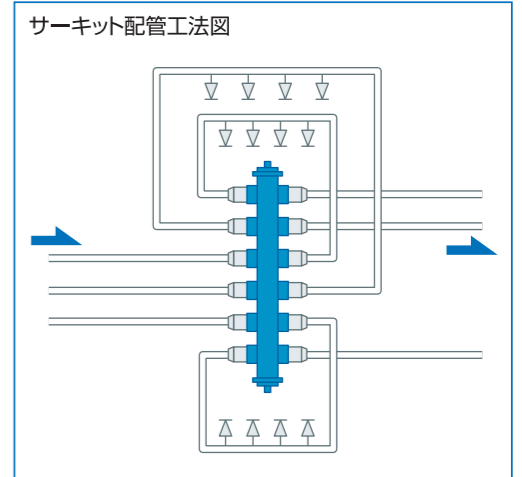
消防法施行令等の一部改正の概要[(6)項のロ]

現行[(6)項のロ]	改正後[(6)項のロ]	
老人短期入所施設	老人短期入所施設	
養護老人ホーム	養護老人ホーム	
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	
有料老人ホーム※1 介護老人保健施設	軽費老人ホーム※3 有料老人ホーム※3 介護老人保健施設	(1)高齢者
老人短期入所事業	老人短期入所事業	
認知症対応型老人共同生活援助事業	認知症対応型老人共同生活援助事業	
短期入所施設共同生活介護(ハにおいて「短期入所等」)※2	小規模多機能型居宅介護事業※3 その他これらに類するもの(総務省令)	

※1:主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。 ※2:主として障害の程度が重い者を入所させるものに限る。
※3:避難が困難な要介護者を主として入居(宿泊)させるものに限る。 ※4:避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る。

サーキット配管で停滞水防止と圧力損失低減

水道連結時に大きな問題となる圧力損失の高さを克服するため、独自のサーキット配管工法を提案。停滞水の防止と配管の圧力損失低減を両立します。



高性能な散水能力

スプリンクラーヘッドは約68℃で散水を始め、ひとつのヘッドの有効散水半径は2.6mで有効防護範囲は13㎡です。
1分あたりの放水量は約15~30リットルです。

水道配管直結なので、停電時にも作動

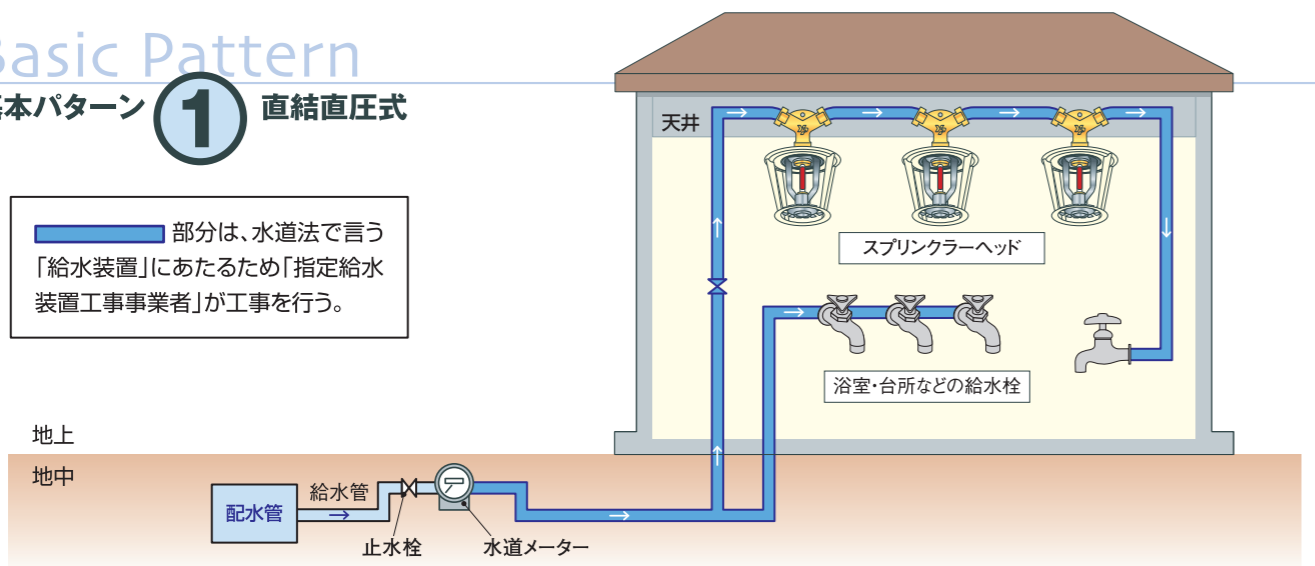
水道直結式なので停電時にも確実に作動し、機能を維持します。
(基本パターン②・⑥・⑦を除く)

- 【基本パターン③直結増圧式 高架水槽式】
- 【基本パターン④受水槽式 高架水槽式】
- 【基本パターン⑤受水槽式 圧力水槽式】
- 【基本パターン⑥受水槽式 ポンプ直送式】
- 【基本パターン⑦直結・受水槽補助水槽 併用式】の給水方式もごさいます。

Basic Pattern

基本パターン ① 直結直圧式

■部分は、水道法で言う「給水装置」にあたるため「指定給水装置工事業者」が工事を行う。



動作フロー



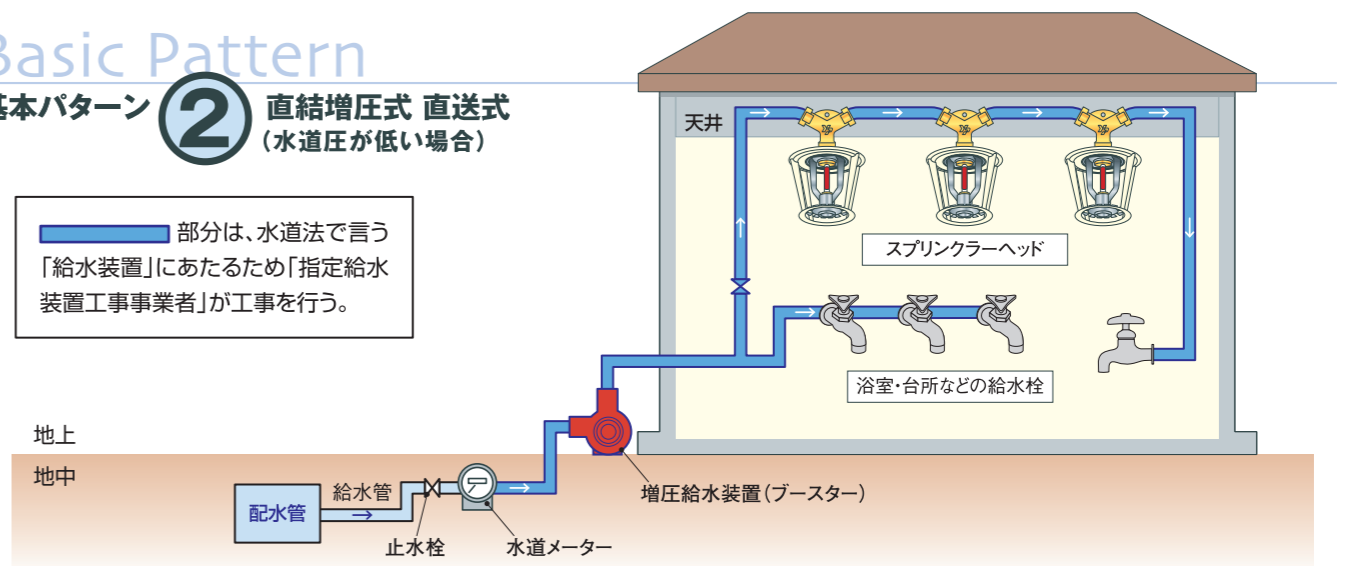
使用商品

- ◎SPヘッド
- ◎停滞水防止継手
- ◎末端試験弁

Basic Pattern

基本パターン ② 直結増圧式 直送式 (水道圧が低い場合)

■部分は、水道法で言う「給水装置」にあたるため「指定給水装置工事業者」が工事を行う。



動作フロー



使用商品

- ◎SPヘッド
- ◎停滞水防止継手
- ◎末端試験弁